

1 豊かな心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合いながら、集団生活のルールを守り、協力して楽しい学校生活を送っている	前期	おおむね良好	良好	様々な教育活動を通じて自然な形で異学年交流が図られ、全校がよい人間関係にあることが感じられる。子どもたちが学校生活を楽しんでいることがアンケート結果からもうかがえる。ただ、正しい言葉遣いの在り方については、今後も留意して指導してほしい。本人が納得しないあだ名での呼称や悪意のある言葉遣いが、いじめの温床になりかねない。また、フランクな場やスポーツ活動の中では呼び捨てとなる場合もあるが、さん付けを奨励することで、相手を思いやる気持ちや優しい雰囲気の方が更に醸成される。最終的には子どもたちがフォーマルやインフォーマルな場など、自分で判断して場に合った言葉遣いがしっかりとできるよう、継続して指導してほしい。
	年度	良好		
評価指標		主な取組		自己評価B
				前期
①思いやりの心と自律性の育成		道徳教育の充実 学校生活アンケート あいさつ運動		4
		言葉遣いや礼儀等 集団生活のきまり 交通教室 危機回避能力の育成		3
②関わる力や主体性の育成		学級での係活動 所属感を高める学級活動		4
		児童会活動 委員会・クラブ活動 異学年交流活動		3

学校の改善策	【前期→後期】
	<p>① 運営委員会を中心に、毎日あいさつ運動が行われている。運動の効果もあり、全体的には大きな声であいさつができる児童が多い。今後は、自分からあいさつできる児童を目指し、模範となる児童を賞賛する機会を多く設けていきたい。</p> <p>① 集団生活のきまりについて、廊下や階段を走ってしまう児童が見られ、指導を継続している。今後は、どんな危険があるのかを具体的に知らせ、安全に気を配って生活できるようにしていきたい。</p> <p>② 各学級では、児童の創意工夫を生かすことができるような様々な係活動が進められている。さらに学級活動が活発に進められるように、今後は児童会や代表委員会からも働きかけていきたい。</p> <p>② なかよし集会やアップル活動などで、異学年交流の場が設定され、子どもたちの関係はおおむね良好である。今後は、休み時間の縦割り遊びなど交流の機会を増やし、さらに子ども同士の関わりを深めていきたい。</p>
	【後期→次年度】
	<p>① あいさつ運動の効果が見られ、元気にあいさつをする児童が増えてきている。次年度に向け、相手の目を見てあいさつをすること、明るいあいさつをすることなど目標を決めて、さらにレベルアップを目指したい。</p> <p>① 言葉遣いについては、友達を呼び捨てにしたり、乱暴な言葉を言い合ったりする場面が見られた。どんなに親しい間柄でも相手のことを思いやって言葉をかけられるように強調して指導をしていきたい。</p> <p>② 係活動や委員会活動など、児童が主体的に取り組むことができるようになってきている。</p> <p>② 児童会活動では、「がんばっている人の紹介活動」「なかよし集会」「縦割り遊びの日」などを通して、異学年でお互いのよさを認め合ったり、交流したりする活動を充実させることができた。今後も交流の時間を大切にしていきたい。</p>

【各種データ】		前期		後期	
保護者アンケート		平均	肯定率	平均	肯定率
①	子どもは、楽しく学校に通っている。	3.7	96	3.6	98
②	子どもは、学校・家庭・地域で挨拶している。	3.2	92	3.3	92
③	子どもは、話す相手や場に応じて、正しい言葉遣いをする事ができている。	3.0	77	3.0	79
④	子どもは、基本的な生活習慣(時間、身なり、歯みがき、整理整頓)を身に付けている。	3.0	73	2.8	66
⑤	教職員は、子供をよく理解し、一人一人の悩みや相談に真剣に対応している。	3.4	90	3.2	89
⑥	学校では、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	3.4	93	3.3	89

児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
①	先生や友達、地域の人に進んで明るくあいさつをしていますか。	3.8	97	3.7	97
②	名前を呼ばれたときに、元気よく返事をしていますか。	3.5	95	3.4	92
③	学校内の生活のきまりを守っていますか。(時間、服装、歩き方、遊び方など)	3.6	97	3.6	95
④	ふだんの生活で言葉を大切に使っていますか。(くんさん付け、ていねいな言葉)	3.4	84	3.4	92
⑤	縦割り活動や係活動、委員会活動などを自分から進んでがんばっていますか。	3.7	94	3.8	98
⑥	学校は楽しいですか。	3.6	93	3.8	97
⑦	いじわるやわがままをしないで、みんなのことを考えて行動していますか。	3.4	93	3.6	94
⑧	当番や係でなくても、気がついたときはみんなのためになることをしていますか。	3.4	93	3.3	89
⑨	友達のがんばりや良いところを見習い、悪いところは注意してあげていますか。	3.4	93	3.5	93
⑩	親切に人と接したり、困っている人に手を貸したりしていますか。	3.6	95	3.5	93
⑪	困り事があると、先生や友だちに相談しますか。	3.4	84	3.4	84

職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
①	道徳教育の充実 学校生活アンケート あいさつ運動	3.2	100	3.1	100
②	言葉遣いや礼儀等 集団生活のきまり 交通教室 危機回避能力の育成	2.9	78	2.8	82
③	学級での係活動 所属感を高める学級活動	3.2	100	3.4	100
④	児童会活動 委員会・クラブ活動 異学年交流活動	3.7	100	3.5	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い/達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある/達成率80~90%、前年度比103~107%
3	実現状況は概ね良好/達成率60~79%、前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定/達成率50~59%、前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する/達成率49%以下、前年度比92%以下